

両労組がチラシ合戦

チッソ「あきあき」と市民側 水俣工場

水俣病問題やチッソ水俣工場再建五カ年計画事業縮小案などにか
らんで、このところチッソ水俣新
労とチッソ水俣工場労組の間で
「チラシ合戦」を展開、微妙な動
きを見せている。

チラシ合戦が始まったのはまず
工場労組（横田重信組合長）が十
二日に「チッソ会社は、いまこそ
真実を発表し、責任を取るべき
だ」との見出しで水俣病問題を取
り上げ、水俣病の原因に対する会
社側の責任追及や患者、家庭の補
償問題など六項目にわたる要求書
と会社側を批判する内容の新聞折
り込みチラシを市民に配ったこと
から。

続いて新労（沢田葆組合長）は

十四日に、四項目の要望書と会社
側の回答をつけて今後の水俣病救
済対策や水俣工場の再建五カ年計
画遂行にあたつて市民の一致協力
を呼びかけるチラシを発行した。
これに対し工場労組は十五日再
び「会社は水俣市民をおどしにか
かった」との見出しで、江頭社長
の発言について「水俣病問題が市
民の中で会社の責任を追及する動
きが出てきたので、再建計画を引
き合いに出したうえ、おどしにか
かったものだ。会社の卑劣きわま
るやり方である」といった内容の

チラシを出して会社側と新労を強
く批判した。

そして十七日には新労側が「工
場労組は事実を曲げて新労に対す
る中傷を始めた」として、「工
場労組が「会社側のおどし」と決
めつけていることは根拠もなく、
逆に無責任な発言である」と工場
労組を批判するチラシを出した。
両労組のチラシはいずれも「市
民の皆さん」ということばから
始まり、市民に呼びかけるものだ

が、連日のようにバラまかれるチ
ラシの内容を眺むたびにあきあき
しているのが良識ある市民たち。
「お互いの意見はあつても、醜
い悪口はイヤになる。水俣病患
者の救済や水俣工場の再建に協力
するうえで、もつと労組の対立
意識をなくした大局的な立ち場で
問題解決に努力してほしい」とい
う声が高まっている。